

宮浜 べにまんさくの湯  
なかまた・やすし  
中股 保志さん



温泉は心と体を癒やす場所、  
健康増進施設としての志を忘れずに頑張ります

平成17年4月、旧大野町の健康増進施設としてオープンした「宮浜べにまんさくの湯」。今年で10年目を迎え、平成24年には来湯者100万人を突破した。

「季節によるお湯の温度、清潔さ、安全に特に気を付けています」と、支配人の

中股さん。玄関前に設置された無料の足湯には登山客などの利用も多い。お風呂と食事のみ

の施設なので、宴会や宿泊などの依頼があれば、宮浜温泉内のほかの施設を紹介し、バックアップしている。

ポイントが貯まる会員カードにも力を入れている。広島東洋カーブの大野練習場があることから、カーブが勝った翌日などはポイントの特典がある。

「温泉は、心と体を癒やす場所。健康増進施設としての志を忘れず、市民の方が気軽に立ち寄れる場所としてこれからもアイデアを出していきたいです。先輩たちからの指導をいただきながら、宮浜温泉を全国へ向けて発信していきたいと思っています」。

宮浜 べにまんさくの湯  
廿日市市宮浜温泉2-2-1 ☎0808

宮浜温泉を気軽に日帰り温泉で楽しむことが出来る、ロケーションのよいスーパー銭湯。多彩なお風呂があり、すべての浴槽から瀬戸内海、宮島の景色を望める。



宮浜リフレクラブ  
こなみ・ゆみ  
小波 由美さん



ここにいる皆さんと協力して、  
知恵を出しながらこの地を盛り上げていきたい

海を見下ろす眺望と宮島へのアクセス、そして温泉の質の良さからこの地を選んだという宮浜リフレクラブ。もともとは会員のための研修センターとして550坪の土地に建てられた。

「現在では一般の方にもご利用いただいています。特に春から秋にかけての

シーズンは、海を眺めながら、テラスでのバーベキューが人気です」と小波さん。手ぶらでバー

ベキューが楽しめることから、運動系のクラブ活動での利用も多いとのこと。

「遠方からのお客様もちろんですが、市内に住んでいる方に目を向けるのも大事なことです」と小波さん。市内の人が、繰り返し利用してもらえる施設を目指し、日々、サービスの向上に努めている。

「宮浜温泉にあるそれぞれの施設には良いところがたくさんあります。これからも皆さんと協力して、アイデアを出し合い、宮浜温泉に人が集まる仕掛けを考えていきたいです」と笑顔で話してくれた。

宮浜リフレクラブ  
廿日市市宮浜温泉2-6-18 ☎1117

ツイン15部屋のアットホームなペンション。会員の研修センターとして平成8年11月にオープンし、平成24年から一般の方にも利用いただいている。



旅籠 桜  
いけだ・ゆきこ  
池田 由起子さん



ここにしかない空間を提供し、  
「行ってみたい」と思えるような温泉地の発展に尽くします

秋にオープン予定の「旅籠 桜」。宮浜温泉に新たなスポットが誕生する。4室全ての部屋に温泉があり、経小屋山を背景にした日本庭園と、大野瀬戸を見渡せる景色で、癒しの空間を提供する。

「ここにしかない景色だから、この場所を選びました」と、池田さん。「外国

からのお客様も多い宮浜温泉で、日本の良さをアピールしたいです。小規模だからこそできるお

もてなしを追求します」と、強調する。

「行ってみたい」と思えるような、旅館を目指し、料理は京都の老舗旅館で修業を積んだ息子の伸行さん（37歳）が担当。また、一流ホテルでおもてなしの技を磨いた妻の仁美さん（32歳）もバックアップする。料理の素材は日本全国から取り寄せるほどのこだわりようだ。

すでに組合員として開湯50周年のイベントに参加。「仲間に入れていただいて、とても感謝しています。微力ながら宮浜温泉の発展に尽くしていきたいと思っています」。

旅籠 桜  
廿日市市宮浜温泉1-20-28 ☎8739

平成26年秋にオープン予定。750坪の敷地に日本庭園や茶室を有する。庭園の中に作られた部屋は、1日4組みに限定し、非日常的な空間を作り出す。



訪れた方を  
幸せな気持ちにするのが、私たちの使命です

「創業当時は、昭和20年の枕崎台風の被害で、岩だらけの場所でした」と語る上野さん。そこに人の手が入り、人の手で創り上げ、人の手によって宮浜温泉ならではおもてなしがなされてきた。昭和40年にオープンした「庭園の宿 石亭」。「50年続けてこられたのは、ここにいる皆さんが強い意思を持ってやっているからこそなんです」。

経小屋山を背に、宮島の対岸に位置する絶好のロケーション。「それは、これまでも、これからも永遠に変わらない景色。この宮浜温泉にしかないものです」。外国人の観光客も多く訪れるようになっ

た現在、自然を生かすことと、お客様の視線を大事にした取り組みが求められているという。

「居心地の良い空間で、訪れた方を幸せな気持ちにする。それは私たちに課せられた使命でもあります」。「ここに来て楽しかった」と、お客様の気持ちを実現し続けて50年が経ち、「これからも、その努力を続けていきたいと考えています」。

庭園の宿 石亭  
廿日市市宮浜温泉3-5-27 ☎0601

経小屋山の麓にある宮浜温泉郷の中に宵の時間を過ごせる大人の宿。宮島を眺望する高台の斜面を利用した10室の閑静な宿。



庭園の宿 石亭  
うえの・じゅんいち  
上野 純一さん



宮浜温泉開湯50周年企画

はつわり  
廿割



宮浜温泉開湯50周年を記念して、廿日市在住の方に限り、宿泊代金の1割を割り引きます。

期間 8月1日(金)～平成27年3月31日(火)

条件 電話、ファクス、またはメールで各施設へ直接申し込んでください。(旅行業者、インターネット予約は不可) ▶支払いは現金のみ ▶廿日市の方が1人含まれていれば可

参加施設 ペンションあんばらんす、旅館かんざき、庭園の宿 石亭、湯の宿 宮浜グランドホテル、宮浜リフレクラブ、旅籠 桜 (今秋オープン予定)

「宮浜温泉地域管理組合」は、  
その50年の歴史を引き継ぎ、  
新しい時代に挑戦する。  
皆さんにその思いを聞いた一。

この50年は山あり、谷あり、大変な時期もありましたが、おかげさまでここまで来ることができました。新しい時代を迎え、これから100年、150年と宮浜温泉が続いていくことを信じています。



宮浜温泉地域管理組合 組合長  
うえはた・たかし  
榎谷 博敏さん

グラウンド・ゴルフ場を宮浜温泉の核に、  
これから先も皆さんをバックアップしていきたい

昭和62年にオープンした「ペンション あんばらんす」。しかし、原田さんは宮浜温泉の開湯後すぐからこの宮浜温泉で働いている。「人生のほとんどをこの地で過ごしましたが、悪い人生ではなかったと思っています」と笑って話す。

平成22年にできた「宮浜温泉グラウンド・ゴルフ場」。原田さんは現在、旅館かんざき、石亭、宮浜グランドホテルと、その指定管理者を務めている。

「グラウンド・ゴルフ場ができたから、すぐにたくさんの方が集まるわけではないですが、温泉地としての新しい利用の波が起きていると実感しています」

と語る。

「今後はグラウンド・ゴルフ場を宮浜温泉の核として、人が集まる仕掛けを考えていきたい」と話す原田さん。「少しでも気持ちよく使ってほしい」との思いから、清掃や芝の管理に日々汗を流している。

「これからの宮浜温泉が発展するよう、皆さんのバックアップをしていきたいと思っています」。

ペンション あんばらんす  
廿日市市宮浜温泉2-13-12 ☎1883

白く小さなスイス風の外観のカジュアルなペンション。客室は7室で、家庭的なサービスが受けられます。お風呂は源泉からひいた温泉を楽しめます。



ペンション あんばらんす  
はらだ・のりゆき  
原田 紀幸さん

